

**＜横浜市立南高等学校 中期学校経営方針＞**  
**＜横浜市立南高等学校附属中学校 中期学校経営方針＞**

中期計画期間	令和5年4月～令和8年3月
学校教育目標	<p>(教育理念) 知性・自主自立・創造</p> <p>(教育目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学びへの飽くなき探究心を持つ人材の育成</li> <li>○自ら考え、自ら行動する力の育成</li> <li>○未来を切り拓く力の育成</li> </ul>
中期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中高教職員が6年間を見通して協働し、特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善を行う。</li> <li>○総合的な学習の時間“EGG”によって、「豊かなコミュニケーション能力」「論理的な思考力」「幅広い教養と社会性」「多様性を尊重する態度」等を育成し、将来を切り拓く力を育てる。</li> <li>○言語活動の充実を通して、思考力・判断力・表現力等を一層重視し、各教科等で目指す資質・能力の育成を図る。</li> </ul>
目標設定の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本校では、6年間の安定しかつ充実した教育環境の中で、一人ひとりの可能性を伸ばし、豊かな人間性と高い学力、国際社会で活躍する力の育成を目指している。</li> <li>○中高一貫教育校として学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程を円滑に実施していく時期にある。</li> </ul>
<b>第4期横浜市教育振興基本計画「新たな時代に向けた高校教育の推進」重点目標</b>	
重点取組項目	取組目標
「総合的な学習の時間」の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な学習の時間“EGG”を教育課程の軸として探究活動に取り組み、異なる文化や背景、価値観をもつ人たちとも協働して、新たな価値を創造できる人材を育成する。</li> <li>○学校評価アンケート「総合的な学習の時間では、主体的に考え、行動し、課題解決できるようになった」と答える生徒が90%以上。</li> </ul>
魅力ある教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な学校行事や生徒会行事等を通して、生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばすことで、自主自立の精神と、豊かな人間性を育む。</li> </ul>
グローバル教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語集中研修、イングリッシュキャンプ、研修旅行などにおいて、英語でのコミュニケーションを集中的に行うことで、国際社会で活用できる語学力の育成を目指す。</li> <li>○さまざまな活動における協働的な学びを通して、これからの社会で求められるコミュニケーション能力を身に付け、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成を目指す。</li> </ul>
<b>人材育成の取組目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「思考力・判断力・表現力等」の育成に向けて、全教員が主体的に校内授業研修会と公開授業に参加し、教育顧問等からの助言を受け、授業力の向上を図る。経験年数の少ない教員は学期に1回以上研究授業を実施し授業力を高める。</li> <li>○横浜市人材育成指標に基づき、市教育委員会が実施する研修と連動させながらキャリアステージに応じた教師力の向上を図る。</li> <li>○教育課程委員会及び研修委員会を中心に、学校全体で取り組むOJTの推進体制を確立する。</li> </ul>	

## 中期学校経営方針における13の取組分野

取組分野		取組目標
1	教育目標等の設定・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者に向けての説明や、教育目標の意味を生徒に考えさせる活動等を通して、学校教育目標の周知を図る。</li> <li>○学校教育目標に基づいて各学年目標を設定し、具現化を図る。</li> </ul>
2	組織運営 (働き方改革) 教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織的・計画的に取り組めるような校内体制の充実に取り組む。</li> <li>○経験の浅い教職員を中心に校内研究授業を職員全員で実施し、指導力の向上を図る。</li> </ul>
3	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な学習の時間“EGG”全体計画を策定し、生徒の主体的な学習を実現する。</li> <li>○国語・数学・英語は週5時間、また、土曜日を活用して、週33時間授業を実施する。</li> <li>○学習指導要領の趣旨を踏まえ、6年間で身に付ける資質・能力を共有し、指導と評価の改善を図る。</li> </ul>
4	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領の趣旨を踏まえ、特に学習評価の在り方についての理解を各教員が深め、指導と評価の一体化をさらに推進する。</li> <li>○各種テストの結果等から生徒の学習状況を把握し、授業改善を行う。</li> <li>○英語や数学等の補習を実施し、個々の生徒に対するきめ細かい指導の機会を設ける。</li> </ul>
5	特別活動 部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級指導や行事指導を通して、生徒の責任感や自主性等を育成する。</li> <li>○生徒会行事や部活動を通して、生徒の望ましい人間関係を育成する。</li> </ul>
6	生徒指導 教育相談 (特別支援)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○礼儀指導や規範意識を育成する指導に取り組む。</li> <li>○生徒の円滑な人間関係づくりを支援し、いじめの防止に取り組む。</li> <li>○教育相談や各種調査を実施し、全職員による生徒理解を推進する。</li> </ul>
7	キャリア教育 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育全体計画を策定し、“EGG”等で社会の第一線で働く方々の講演や職場体験等を行う。</li> <li>○特活指導内のキャリア教育の内容を系統立てて計画する。</li> </ul>
8	保健指導 環境美化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食育全体計画・学校保健計画・学校安全計画を策定し、食育・保健指導・安全点検等を実施する。</li> </ul>
9	学校経理 施設・設備 情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校予算の効率的かつ適切な執行については、高等学校と連携し、学校事務職員だけではなく教職員全体で意識の向上を図る。</li> <li>○「横浜市におけるGIGAスクール構想」に基づき、1人1台端末の活用等、教育のICT化をさらに推進する。</li> <li>○学校情報の適切な管理、誤記載のない成績文書の作成を推進する。</li> </ul>
10	保護者・地域等 との連携協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PTA・同窓会・後援会との協働による教育支援体制の強化を図る。</li> <li>○授業参観や懇談会等を通して、保護者との連携協力を推進する。</li> <li>○体育祭や文化祭で、本校の教育活動を広く公開する。</li> </ul>
11	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校防災・防犯プランをもとに、緊急物資の備蓄や防災指導・防犯指導等を充実させるとともに、緊急メール配信システムを適切に運用する。</li> <li>○新型コロナウイルス等、感染症にかかる適切な対応を行う。</li> </ul>
12	学校に関する 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校ホームページの適切な運用等、学校広報活動のさらなる充実を図る。</li> <li>○学校評価を活用した学校情報の公開を推進する。</li> </ul>
13	いじめへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ防止に関わる研修を定期的実施し、教職員の共通理解を図り、適切な対応方法について研修を深める。</li> <li>○1年生全員と校長代理面接を行い、一人ひとりが受け入れられていると実感できる環境を作り、いじめを許さない意識の向上を図る。</li> <li>○生徒に定期的なアンケートを行い、未然防止と早期発見に努める。</li> </ul>